

【本資料は、2023年4月26日付で発表された Standard Chartered PLC 1Q'23 Results(一部抜粋)の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータードPLC—2023年度第1四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は 2022 年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない再編関連コストおよびその他の項目の内容は、原文「Standard Chartered PLC 1Q'23 Results」の 30~35 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループは 2023 年度第 1 四半期も好調な業績を達成し、収益は前年同期比で 13%増加、税引前利益は同 25%増加しました。不確実な環境下ではありましたが、多くの市場と商品で業績の改善が続き、高い収益を実現しました。CET1 比率も、潤沢な流動性と盤石な資本基盤に支えられて、目標レンジの上限に近い水準にあります。我々は今後も良好な業績を維持できると考え、2023 年度の収益は目標レンジの上限である 10%前後の伸びを示すと予想し、有形資本利益率(RoTE)の目標を含むすべての財務目標が達成されると確信しています。」

戦略的アクションの進捗状況

- 法人営業・コマーシャルバンキング部門(CCIB)におけるリターンの向上:リスク・アセット対比収益率は前年同期比2ポイント上昇し、8.0%となりました。最適化の取組みを通じて当四半期中に9億ドルのリスク・アセット(RWA)を削減し、22年年初来から148億ドルを削減しました。
- コンシューマー/プライベート/ビジネスバンキング部門(CPBB)における収益性の転換:費用収益比率は前年同期から13ポイント改善して58%に、22年年初来の総費用削減額は3億ドルに達しました。
- 中国における機会の獲得:中国オンショア事業は前年同期比4%の増収、オフショア事業は同67%の増収となりました。
- オペレーションのレバレッジの創出:生産性の向上により当四半期中に総額1億ドル、22年年初来では6億ドルの費用を削減しました。費用収益比率は2ポイント改善して61%となりました。
- 潤沢な株主還元:現在、10億ドルの株式買戻しプログラムが順調に進んでいます。22年年初以降、総額28億ドルの株主還元を発表しました。

その他のハイライト

- ベンチャー:MoxとTrustの2つのデジタルバンクの設立以来、両行を通じて約100万件の顧客を獲得しました。
- サステナビリティ:当行グループは先般表明したコミットメントに沿って、2023年5月の株主総会の前に、石油とガスの排出総量目標を発表する予定です。

23 年第 1 四半期の業績の概要

- 有形資本利益率(RoTE)**は、前年同期から170bps上昇して11.9%に達しました。
- 収益**は8%増収の44億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは13%の増収を実現しました。
 - 純金利収入は、為替変動の影響を除いたベースで18%の増収となりました。
 - 純資金利ざや(NIM)は、金利上昇によるプラスの効果が、ヘッジ損失の増加および債務と資産の構成によるマイナスの影響によって一部相殺され、前四半期より5bps拡大して1.63%となりました。預金残高は当四半期中安定し、当座・普通預金から定期預金への移行と預金のベータは予想通りの状況となっています。
 - ファイナンシャルマーケットは為替変動の影響を除いたベースで1億ドル(5%)の減収となりましたが、22年度第1四半期における時価評価された債務による9,400万ドルの増収を考慮しなければ、為替変動の影響を除いたベースで1%の増収となりました。
 - ウェルスマネジメントの収益は、中国経済の再開を受けた良好な景気先行指標に支えられた香港と中国における業績回復によって、為替変動の影響を除いたベースでほぼ横ばいとなりました。
- 費用**は27億ドルへ前年同期比5%増加、為替変動の影響を除いたベースでは10%の増加となりました。
 - 為替変動の影響を除いたベースでは、収益の伸び率が費用の増加率を3%上回りました。
 - ビジネス戦略の実行と物価の上昇によって、費用は増大しました。
- 信用減損**は2,600万ドルと、前年同期比1億7,200万ドル減少しました。

- ソブリンエクスポージャーのダウングレードに関連して2,300万ドルがネットで戻し入れられ、また中国商業用不動産セクターに対するエクスポージャーに関しても200万ドルがネットで戻し入れられました。
- マネジメント判断による調整(オーバーレイ)額の残高は新型コロナウイルス関連が900万ドル、中国商業用不動産関係が1億6,700万ドルとなっています。
- ハイリスク資産は、当四半期中の変動ほぼありませんでした。
- 為替変動の影響を除いたベースで、**特別要因調整後の税引前利益**は、25%増益の17億ドル、法定ベースの税引前利益も25%増益の18億ドルとなりました。
- **税金**は4億6,400万ドル、特別要因調整後の実効税率は26%となりました。
- 当行グループの**バランスシート**は依然として健全で流動性が高く、十分に分散されています。
 - 顧客向け貸付金その他の金銭債権は22年12月31日から100億ドル(3%)減少して3,010億ドルとなり、特別要因調整後ベースでは20億ドル(1%)の減少となりました。
 - 顧客預金の残高は4,620億ドルと22年末以来安定しています。コンシューマー／プライベート／ビジネス部門(CPBB)における30億ドルの増加は法人営業・コマーシャルバンキング部門(CCIB)における定期・普通預金の減少によって相殺されました。最近の銀行業界へのストレスは預金残高に影響していません。
 - 流動性カバレッジ・レシオは161%となりました(22年12月31日時点では147%)。
 - 預貸率は56.2%(22年12月31日時点では57.4%)でした。
- **リスク・アセット(RWA)**は2,510億ドルと、22年12月31日から62億ドル(3%)増加しました。
 - 信用リスク・アセットは38億ドル増加しました。資産の増加および構成によって43億ドル、資産の質の悪化によって18億ドル増加しましたが、最適化の取組みによって18億ドル減少、為替変動の影響によって11億ドル減少したことで、増加分の一部が相殺されました。
 - 市場リスク・アセットは17億ドル増加、オペレーショナルリスク・アセットは7億ドル増加しました。
- 当行グループは依然として盤石な自己資本を有しています。
 - 普通株式等Tier 1比率(CET1比率)は13.7%と、目標レンジである13-14%の上限に近い水準にあります(22年12月31日時点では14.0%)。13億ドルの増益によるプラス効果が、10億ドルの株式買戻しの影響とリスク・アセットの増加に伴う同比率の37bpsの低下によって、打ち消されました。
- **1株当たり利益**は5.9セント(19%)増加して37.6セントとなりました。

見通し

当四半期の好調な業績と当行グループの主要市場におけるビジネスの見通しの明るさから、当行グループは財務目標を達成する自信を強めています。

当行グループの流動性の状況は引き続き堅固であり、預金残高は安定しており、定期預金への移行と預金のベータは予想通りの状況となっています。我々は引き続きクレジット・ポートフォリオを積極的に管理し、特に脆弱な市場のソブリンリスクを注視していきます。資本の水準は依然として盤石です。

当行グループが今般行った株主の皆様へのご報告の概要は以下の通りです。

- 為替変動の影響を除いたベースでは、2023年の収益は8-10%のレンジの上限に近い10%前後の増収、2024年には8-10%のレンジの増収率になる見通しです。
- 通年の平均純資金利ざや(NIM)は、2023年度は170bps前後、2024年度は175bps前後になると予想します。
- 資産およびリスク・アセット(RWA)の増加率(%)は、一桁台の前半になる見込みです。
- 2023年度と2024年度には、英国銀行税と為替変動の影響を除いたベースで、収益の伸び率が費用の増加率を3%上回るでしょう。
- 信用減損については、信用損失率は30-35bpsのレンジ内で循環的に変動しながら、過去の水準に向けて正常化していく見込みです。
- 当行グループはCET1比率を13-14%の目標レンジ内に維持しながら、ダイナミックにビジネスを展開していきます。
- 2024年までに、50億ドルを超える金額を株主の皆様へ還元する予定です。
- 有形資本利益率(RoTE) は2023年度に10%に近づき、2024年度には11%を超え、以後も上昇する見込みです。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム、中国、香港、日本、韓国、マカオ、台湾が含まれ、「アフリカ中東(AME)」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、ガーナ、イラク、ヨルダン、ケニア、レバノン、モーリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨーロッパ 米州(EA)」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フオー克蘭諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本体は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは LSE STAN.LN および HKSE 02888 です。

【参考記に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	23年度 第1四半期 (百万ドル)	22年度 第1四半期 (百万ドル)	増減 ² %
特別要因調整後ベースの業績 ¹			
営業収益	4,396	4,076	8
営業費用(英国銀行税を含む)	(2,675)	(2,550)	(5)
信用減損	(26)	(198)	87
その他減損費用	—	(1)	100
関連会社利益	11	63	(83)
税引前利益	1,706	1,390	23
普通株主に帰すべき利益／(損失) ³	1,076	965	12
普通株主有形資本利益率 (RoTE) (%)	11.9	10.2	170bps
費用収益比率 (銀行税を除く)(%)	60.9	62.6	170bps
法定ベースの業績			
営業収益	4,560	4,292	6
営業費用	(2,750)	(2,665)	(3)
信用減損	(20)	(197)	90
その他の減損費用	—	(6)	100
関連会社利益	18	68	(74)
税引前利益	1,808	1,492	21
税金	(464)	(313)	(48)
当期利益	1,344	1,179	14
親会社株主に帰すべき利益／(損失)	1,341	1,176	14
普通株主に帰すべき利益／(損失) ³	1,163	1,055	10
普通株主有形資本利益率 (%)	13.0	11.1	190bps
費用収益比率 (銀行税を含む)(%)	60.3	62.1	180bps
バランスシートと資本			
総資産	820,678	839,117	(2)
総資本	50,011	51,840	(4)
普通株主に帰すべき平均有形株主資本	36,269	38,614	(6)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	300,627	295,785	2
顧客口座	462,169	456,404	1
リスク・アセット	250,893	260,833	(4)
総自己資本	52,318	55,036	(5)
総自己資本比率 (%)	20.9	21.1	(20)bps
普通株式等 Tier 1	34,402	36,296	(5)
普通株式等 Tier 1 比率 (%)	13.7	13.9	(20)bps
純資金利ざや(%) (調整後)	1.63	1.29	34bps
預貸率 (%) ⁴	56.2	60.0	(3.7)
流動性カバレッジ率 (%)	161	140	21
レバレッジ率 (%)	4.7	4.4	30bps
普通株式1株当たりの情報	セント	セント	セント
1株当たり利益—特別要因調整後ベース ⁵	37.6	31.7	5.9
—法定ベース ⁵	40.7	34.6	6.1
1株当たり純資産額	1,505	1,460	45
1株当たり純有形固定資産額 ⁶	1,297	1,276	21
期末時点の普通株式数(百万株)	2,833	2,993	(5)

- 2022年の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) 債務評価調整(DVA)を除いて修正されています。法定ベースの業績については変更はありません。
- 資産、債務、リスク・アセット以外については、増減は改善(悪化)を示します。総自己資本比率(%), 普通株式等Tier 1比率(%), 純資金利ざや(%), 預貸率(%), 流動性カバレッジ率(%), 英国レバレッジ率(%)については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。
- 普通株主に帰すべき利益(損失)は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 本比率の算出にあたっては、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額には、リバース・レポ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を含んでおらず、一方で、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権は含んでいます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。
- 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。
- 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

23年度第1四半期					
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー 部門	その他	合計
	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)
営業収益	2,892	1,772	17	(285)	4,396
外部収益	2,313	1,126	17	940	4,396
セグメント間収益	579	646	—	(1,225)	—
営業費用	(1,415)	(1,033)	(102)	(125)	(2,675)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,477	739	(85)	(410)	1,721
信用減損	8	(62)	(10)	38	(26)
関連会社利益	—	—	(8)	19	11
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	1,485	677	(103)	(353)	1,706
再編関連コスト	39	(2)	—	11	48
DVA	54	—	—	—	54
法定ベースの税引前利益/(損失)	1,578	675	(103)	(342)	1,808
総資産	394,873	130,669	2,683	292,453	820,678
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	181,335	128,102	812	36,816	347,065
顧客向け貸付金その他の金銭債権	134,927	128,079	812	36,809	300,627
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	46,408	23	—	7	46,438
総債務	476,993	188,050	1,955	103,669	770,667
うち顧客口座 ¹	335,996	182,856	1,767	5,792	526,411
リスク・アセット	148,550	50,621	1,627	50,095	250,893
リスク・アセット対比収益率(%)	8.0	14.1	5.5	(2.3)	7.1
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	21.2	28.0	nm ²	(25.7)	11.9
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	48.9	58.3	nm ²	nm ²	60.9

- 「顧客向け貸付金その他の関連債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」には、FVTPLで保有されるものおよびレポ契約を含みます。
- 僅少

22年度第1四半期 ²					
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー 部門	その他	合計
	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)
営業収益	2,393	1,410	1	272	4,076
外部収益	2,269	1,314	1	491	4,075
セグメント間収益	124	96	—	(219)	1
営業費用	(1,252)	(1,006)	(72)	(220)	(2,550)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,141	404	(71)	52	1,526
信用減損	(146)	(35)	(3)	(14)	(198)
その他減損費用	—	(1)	—	—	(1)
関連会社利益	—	—	(3)	66	63
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	995	368	(77)	104	1,390
再編関連コスト	13	(4)	—	8	17
DVA	85	—	—	—	85
法定ベースの税引前利益/(損失)	1,093	364	(77)	112	1,492
総資産	420,168	138,063	1,115	279,771	839,117
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	200,625	135,333	115	27,979	364,052
顧客向け貸付金その他の金銭債権	135,704	135,279	115	24,687	295,785
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	64,921	54	—	3,292	68,267
総債務	489,720	182,197	693	114,667	787,277
うち顧客口座 ¹	329,206	177,953	621	10,277	518,057
リスク加重資産	156,753	53,463	876	49,741	260,833
リスク・アセット対比収益率(%)	5.9	10.6	1.6	2.0	6.1
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	12.7	14.4	nm ³	(0.1)	10.2
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	52.3	71.3	nm ³	80.9	62.6

- 1 「顧客向け貸付金その他の関連債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」には、FVTPLで保有されるものおよびレポ契約を含みます。
- 2 2022年度の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(ii) DVAを除いて修正されています。法定ベースの業績については変更はありません。
- 3 僅少

補足財務情報

地域別の特別要因調整後の業績

23年度第1四半期					
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	3,191	676	413	116	4,396
営業費用	(1,750)	(397)	(433)	(95)	(2,675)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,441	279	(20)	21	1,721
信用減損	(64)	26	2	10	(26)
その他減損費用	1	(1)	—	—	—
関連会社利益	17	—	—	(6)	11
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	1,395	304	(18)	25	1,706
再編関連コスト	(7)	18	22	15	48
DVA	13	7	34	—	54
法定ベースの税引前利益/(損失)	1,401	329	38	40	1,808
総資産	488,860	52,124	270,332	9,362	820,678
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	259,161	24,334	63,570	—	347,065
顧客向け貸付金その他の金銭債権	246,910	21,639	32,078	—	300,627
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	12,251	2,695	31,492	—	46,438
総債務	441,492	39,606	222,235	67,334	770,667
うち顧客口座 ¹	352,016	30,933	143,462	—	526,411
リスク・アセット	153,062	41,995	51,929	3,907	250,893
リスク・アセット対比収益率(%) ²	8.4	6.7	3.2	14.2	7.1
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%) ²	19.6	15.1	(1.0)	nm ⁵	11.9
費用収益比率(%) ³	54.8	58.7	104.8	nm ⁵	60.9

22年度第1四半期 ⁴					
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,698	609	808	(39)	4,076
営業費用	(1,622)	(373)	(377)	(178)	(2,550)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	1,076	236	431	(217)	1,526
信用減損	(283)	44	38	3	(198)
その他減損費用	—	—	—	(1)	(1)
関連会社利益	65	—	—	(2)	63
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	858	280	469	(217)	1,390
再編関連コスト	7	16	(1)	(5)	17
DVA	31	9	45	—	85
法定ベースの税引前利益/(損失)	896	305	513	(222)	1,492
総資産	475,917	55,458	298,207	9,535	839,117
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	263,871	26,175	74,006	—	364,052
顧客向け貸付金その他の金銭債権	198,950	26,121	74,006	(3,292)	295,785
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	64,921	54	—	3,292	68,267
総債務	424,264	43,287	252,035	67,691	787,277
うち顧客口座 ¹	334,813	34,705	148,539	—	518,057
リスク・アセット	163,447	45,154	49,619	2,613	260,833
リスク・アセット対比収益率(%) ²	6.4	5.2	6.4	(7.2)	6.1
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%) ²	10.7	12.3	19.2	nm ⁵	10.2
費用収益比率(%) ³	60.1	61.2	46.7	nm ⁵	62.6

- 「顧客向け貸付金その他の関連債権」には損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」には、FVTPLで保有されるものおよびレポ契約を含みます。
- 増減は増減率ではなく、二期間の間のベース・ポイント(bps)の差で示されています。
- 増減は増減率ではなく、二期間の間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。
- 2022年の該当期間における特別要因調整後ベースの業績は、(i) アフリカ・中東地域における撤退した市場とビジネス、(ii) 航空機ファイナンス、(iii) DVAを除いて修正されています。法定ベースの業績については変更はありません。
- 僅少